



加盟  
団体



トップス広島 事務局

〒734-0007  
広島市南区皆実町2-8-42  
猫田記念体育館1F  
TEL: 082-254-2012  
FAX: 082-251-5712  
URL: www.tops-h.net/

このQRコードから  
公式Webサイトへ  
アクセスできます。



## 世界への切符を懸けた戦い

5月5日(日)～6日(月)、三重県四日市市で第16回世界選手権大会日本代表予選会が行われた。今大会には、船水雄太選手・広岡宙選手ペア、丸中大明選手・長江光一選手ペア、村上雄人選手・林大喜選手ペア、村田匠選手・林湧太郎選手ペアが出場した。

5日(日)、出場40ペアを10グループに分け行われた予選リーグでは、NTT西日本ソフトテニス部の各ペアが躍動した。なんと、全ペアが予選リーグをグループ1位で通過したのだ。翌日の決勝トーナメントに向けて素晴らしい結果で、大会初日を終えた。

6日(月)、迎えた決勝トーナメント注目の初戦(2回戦)。村上・林大喜ペアは惜しくも敗退するが、丸中・長江ペアが4月に行われた全日本男子選抜大会で優勝したヨネックスの林田・柴田ペアに見事勝利するなど、3ペアが準々決勝にコマを進めた。順調に準々決勝へ進んだ3ペアだったが、村田・林湧太郎ペアは今大会優勝の早稲田大学の内本・内田ペアに敗れ、船水・広岡ペア、丸中・長江ペアも強敵の前に姿を消した。

世界選手権へと繋がる重要な大会だっただけに、選手たちも無念ではあるだろう。しかし、全ペアが予選リーグをグループ1位で通過したことや、丸中・長江ペアの初戦にあげた大金星は大きな収穫であったに違いない。



## 黒鷲旗初戦！2年ぶりの優勝へ！

5月1日(水)～6日(月)の6日間、第68回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会が丸善インテックアリーナ大阪で行われ、グループ戦初戦、洛南高校との一戦に臨んだ。

第1セット、序盤から得点を重ね、中盤までに11-8とリードする。そこからは怒濤の7連続得点でさらに点差を広げる。終盤には熊倉選手のバックアタックが決まり、24-14とセットポイントを迎えると、最後は相手選手のサーブミスにより25-15で第1セットを先取した。

第2セット、序盤に中島選手、熊倉選手などの攻撃により5連続得点を挙げ、7-2と相手を突き放す。気づけばJTサンダースペースで試合が進んでいた。23-15の場面からロジャーズ選手の速攻でセットポイントを奪うと、最後は久原選手のスパイクが決まり25-17でこのセットを勝ち取った。

第3セット、いきなり4連続得点を挙げるなど第2セットの勢いそのまま試合が進んだ。その後も武智選手、ロジャーズ選手が得点源となり得点を積み重ねて行く。最後は武智選手のスパイクが決まり25-14で試合終了。ストレートで勝利を収め、今大会初戦を白星で飾った。

時代は令和となり、新時代の初戦を勝利で飾ったJTサンダース。今後の大会でも更なる活躍を期待したい。

サーブを放つ17番金子選手



コミュニケーションを取る選手たち







## 今季初！ホッケークリニック富山

3月23日(土)、富山県・小矢部ホッケー場において、小矢部市内の中学生・高校生約65名が参加してホッケークリニックが開催された。

クリニックでは5つのグループに分かれてニール・ホーグッド監督が考案した練習メニューを20分間隔のローテーションで行い、シュートや対人練習など子どもたちの運動量にしっかりと合わせつつ、内容の濃い練習となった。レッドスパークスの選手や監督自らも、子どもたちのスキルアップに繋がるように、実際にお手本を見せたり、ポイントをアドバイスしたりと、丁寧な指導を行った。子どもたちの表情はアドバイスを聞き逃さないよう真剣そのものであった。

子どもたちにはこのような経験を通じて、さらにホッケーを楽しんでプレーしてもらえることを期待したい。



子どもたちにレクチャーをする三橋選手

## 目指せ四冠！2019年シーズン激励会

4月24日(水)、グランドプリンスホテル広島において2019年シーズン激励会が行われた。激励会には湯崎英彦県知事をはじめ、約250名ものお客さまが激励に訪れた。

主将の金藤祥子選手に、2019年シーズンに向けて特に重要視してきたことを伺うと、「チーム内でコミュニケーションをしっかり取ることを大事にしてきた。」と語った。ホッケー日本代表合宿等でメンバー全員が揃って練習することが難しい中、チームの柱として支えている金藤選手の存在は大きいものであったのではないだろうか。

また、チームを率いるニール・ホーグッド監督は、就任してから今季で3シーズン目を迎え、「チームの基盤はできた。あとは勝つだけ。」と語った。

5月1日(水・祝)に初戦を迎える「高円宮杯2019ホッケー日本リーグ」からいよいよ2019年度シーズンが始まる。念願の公式戦四冠を目指して、一戦一戦熱い試合を繰り広げてくれることと思う。

新鮮さのあるスーツ姿の選手たち



中国電力  
陸上競技部

中国電力陸上競技部

## 中国実業団選手権大会

5月11日(土)、18日(土)、19日(日)、広島県三次市のみよし運動公園陸上競技場で第58回中国実業団陸上競技選手権大会が開催された。

大会初日の11日(土)には5000mのタイムレース3組決勝が行われ、5名の選手が出場した。3組目で出場した岡本選手は奮闘し、14分06秒79で4位入賞を果たした。残る選手は思うような走りができず、次のレースに向けて気持ちを切り替える結果となった。

大会2日目の18日(土)には10000mのタイムレース2組決勝が行われ、6名の選手が出場した。大会初日の5000mでは他実業団に上位を占められたので、この10000mでは上位独占を目標にスタート。結果は岡本選手が2位に20秒の大差をつけて見事4連覇を達成した。怪我からの復帰戦となった織田記念大会や今大会初日の5000mと本来の走りができず、悔しい日が続いたがこの10000mはこれからの自信に繋がる走りができた。また、森本選手が7位入賞、渡邊選手が8位入賞と粘りを見せた。兼実選手は積極的に攻めるも、後半粘れず9位と入賞を逃した。松井選手、秋山選手は次戦に期待したい。

そして大会最終日の19日(日)には1500mタイムレースに森宗選手が出場した。前半から積極的にレースを展開し、入社後ベストの4分07秒11で8位入賞を果たした。

今大会で結果を出せた選手、出せなかった選手ともに今後更に熱いレースを見せてくれることを期待したい。



## 逆転勝利！怒涛の反撃！

4月14日（日）、明治安田生命 J1 リーグ第7節、サンフレッチェ広島はアンドレス・イニエスタ選手などを要する強敵ヴィッセル神戸と対戦した。

試合開始15分に先制点を許すもその8分後、相手のミスを見逃さなかった柏選手からのパスをパトリック選手が押し込みすぐさま同点に追いつく。しかし、再び神戸に1点を奪われ1-2とリードを許し、前半を終えた。後半に入り気持ちを切り替えたサンフレッチェ広島は、本来のペースを取り戻す。後半65分、川辺選手の上げたクロスを混戦の中、最後は柏選手が頭で押し込み2-2の同点に追いつく。そしてその5分後、さらに3分後と立て続けに渡選手がゴールを決め、4-2と一気に逆転に成功する。このまま2点のリードを守り切り見事逆転勝利を収め、勝ち点3をしっかりと獲得した。

## ACL グループステージ首位で通過！

5月8日（水）、AFCチャンピオンズリーグ2019グループステージMD5が行われ、グループ2位の広州恒大と戦った。

勝利すればグループステージ通過が決まる大事な一戦。立ち上がりからサンフレッチェ広島のペースで試合は進んだ。その前半15分、森島選手のCKを佐々木選手が右足ヒールで合わせ、先制に成功する。その後、同点に追いつこうとパウリーニョ選手を中心に攻撃を仕掛ける広州恒大に対し、DF陣の堅い守備で最後まで得点を与えず、1-0で勝利を掴み取った。

ホームで見事勝利したサンフレッチェ広島は4連勝とグループステージを首位で通過を決めた。6月18日（火）から始まるラウンド16での活躍に期待したい。

歓喜する選手たち



©2019 S.FC



©2019 S.FC

サポーターの声援に応える選手たち



広島東洋カープ

## ついに開幕！

3月29日（金）、プロ野球ファンが待ちに待った2019年シーズンが幕を開けた。球団史上初のリーグ4連覇を目指す広島東洋カープの初陣は対巨人戦。昨年までチームを牽引してきた丸選手との対戦で注目を集めた。カープの先発は昨年リーグ最多勝の大瀬良投手。一方の巨人は沢村賞の菅野投手。

3回裏、安部選手のホームランでカープが先制。その後、大瀬良投手は巨人打線を見事なピッチングで抑え、迎えた8回表。2本のヒットで1アウト1・2塁のピンチとなり、打席には巨人の丸選手。しかし、大瀬良投手の気迫のピッチングで丸選手を見逃し三振に斬って取り、一打同点の場면을切り抜けた。カープはその裏、打線が繋がリ一挙4得点。緊迫した投手戦が予想されたが、結果は5-0で快勝であった。今年はリーグ4連覇そして、悲願の日本一に期待したい。

## 四連覇へ巻き返し

開幕から1か月が過ぎ、シーズン序盤こそ勝利が遠のいていたものの、4月17日（水）に行われた巨人戦での逆転勝ち以降勢いに乗り、そこから8連勝を飾り、息を吹き返した。

5月15日（水）、東京ヤクルト戦では「逆転のカープ」に相応しい試合展開となった。この日は7回終了時点で2-7と厳しい試合展開であった。しかし、8回裏に4番鈴木選手の一振りでも1点を返すと、9回裏にも打線が繋がリ一挙4得点。7-7と試合を振り出しに戻し、迎えた延長10回裏1アウトランナー1塁の場面。打席には8回にホームランを放った4番鈴木選手が立つ。フルカウントに追い込まれながらも、劇的なサヨナラ2ランホームランを放ち9-7で勝利した。

尚、カープは5月25日（土）の段階で、セントラルリーグの首位を走っている。



## 合同ファン感謝祭開催！

4月29日（月）、広島市中区スポーツセンターでワクナガレオリックとイズミメイプルレッズによる合同ファン感謝祭を開催した。

午前中はハンドボール教室が開かれ、参加した小・中学生は選手から直接指導を受け、貴重な時間を過ごした。午後からはワクナガレオリックとイズミメイプルレッズがそれぞれ紅白戦を行い、普段のリーグ戦とは違った雰囲気ファンの方々にたくさんの笑いを届けた。また、昨シーズンで引退されたワクナガレオリックの佐藤智仁選手の引退セレモニーも行われ、ファンの方から暖かい拍手が送られた。

今回のファン感謝祭でさらに選手とファンの絆が深まり、これからの戦いに期待が膨らむばかりだ。



広島ガス  
バドミントン部

## わんぱくキッズスポーツデー！1日バドミントン教室

3月23日（土）、広島県立総合体育館にて公益財団法人広島県教育事業団、わんぱく大作戦プロジェクト2018主催の「わんぱくキッズスポーツデー！」が開催され、小学4年生から中学生を対象にバドミントン教室を行った。

広島ガスバドミントン部からは、選手・スタッフ計10名が講師として参加し、74名の子どもたちと触れ合った。子どもたちはそれぞれに合ったレベルに分かれ、基礎的なことから丁寧に学んだ。また、選手も交えながらミニゲームを行う中で、選手のアドバイスを真剣に聞く場面も多く見受けられた。最後に、選手と握手をし、サインをもらった子どもたちは、嬉しそうな笑顔で大満足した様子であった。

イベントを通じて、選手が直接子どもたちに指導行うことで、更にバドミントンの魅力が伝わったのではないだろうか。



イズミメイプルレッズ

## 新生イズミメイプルレッズ

横断幕を持って進む選手たち



5月3日（金）から5日（日）までの3日間、広島市中区の平和記念公園と平和大通り一帯を主会場に、広島と世界を結ぶ平和の花の祭典「2019 ひろしまフラワーフェスティバル」が開催された。

フラワーフェスティバル初日の3日（金）、板野選手、堀川選手、石川選手と新人選手の中西選手、山根選手、村松選手、斗米選手の7名は平和大通りにて行われた花の総合パレードに参加した。板野選手、堀川選手、石川選手は『ハロー！ゆめタウン2019』の大きな横断幕を持って登場。3選手のはじけた笑顔が印象的だった。4名の新人選手は4月より変更された新チーム名、『イズミメイプルレッズ』の名を掲げ、平和大通りを歩いた。また、トップス広島ブースにて、来場者の方々と写真撮影も行なった。

今シーズンは、さらにパワーアップした新生メイプルレッズの躍進に期待したい。

各チームの1推し選手を紹介します。

### ☆選手紹介コーナー☆

#### サンフレッチェ広島

ひがし しゅん き  
東 俊 希 選手

生年月日 2000年7月28日  
身長 180cm  
血液型 AB型  
出身地 愛媛県  
↓担当者からのコメント

FIFA U-20 ワールドカップポランド2019日本代表メンバーに選出。今期、ACL第2節メルボルン・ビクトリー戦でプロ入り初得点を決めた。正確な左足を武器に、これからのサンフレッチェを担う選手である。



©2019 S.F.C



歓声に応える選手たち



# トップスポーツ観戦ラリー2018-2019 賞品贈呈

## ～NTT 西日本ソフトテニス部 in 亀山中学～

5月11日(土)、NTT西日本ソフトテニス部の丸中大明選手と林大喜選手が亀山中学校ソフトテニス部を訪問した。今回の訪問はトップスポーツ観戦ラリー2018-2019における当選者への賞品贈呈によって実現した。

当選した亀山中学校3年生の城山風我くんには、「憧れの選手に教えてもらえる券」と「憧れの選手と写真が撮れる券」が贈呈された。見事当選した城山くんは、「言葉に言い表せないくらい嬉しい。」と語った。また、特別指導を行った丸中選手は、「教えがいがあり、すごく楽しく過ごすことができた。」と子どもたちに感心していた。

トップスポーツ観戦ラリーは今年度も実施しており、広島スポーツ界の更なる発展が期待される。

丸中選手から指導を受ける城山 風我 くん



サプライズプレゼントを着て記念撮影



### ～特別指導を行った選手の主な戦績～

#### 丸中 大明 選手

- ・全日本社会人選手権優勝 2回  
(2017年、2018年)
- ・日本リーグ優勝 2回  
(2016年、2017年)

#### 林 大喜 選手

- ・2017年ドイツオープン準優勝
- ・日本リーグ優勝 2回  
(2016年、2017年)

お知らせ

トップスポーツ観戦ラリー 参加者募集!



トップス広島加盟2チームの試合を観戦してサインボールなどチーム関連商品をゲットしよう!  
5チーム観戦でサイン入りレプリカユニフォーム等が当たる「GOGO トップス広島賞」のチャンス!

【対象】小学生以上 【対象期間】 2019/4/1～2020/3/16

【応募方法】対象期間の観戦チケット半券または観戦証明書(トップス事業参加証明書)を所定の用紙に2または5チーム分貼付け、区スポーツセンターまたはスポーツ協会事務局へ

【応募締切】2020年3月23日(月) ※詳しくはトップス広島ホームページにて



### ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。

編集協力 広島経済大学 興動館  
スポーツによる地域活性化プロジェクト